



御成門だより

教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」
〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3568 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-ky.ed.jp



人事を尽くして、天命を待つ

校長 佐藤 太

2月(如月)。立春(2月4日)を迎え、暦の上では春の訪れとなりますが、まだまだ厳しい冬の寒さが続きます。風邪を引かないように健康には注意しながら、学校生活の一日一日を大切に過ごしてください。

私達の学区域にある将軍徳川家の菩提寺でもある増上寺や芝公園には、梅の木や梅園(梅林)があります。「梅一輪 一輪ほどの暖かさ」(服部嵐雪)の俳句にもあるように、一輪ごと花が咲くにつれ、少しずつ春へ向かって時は動いていきます。

「梅」は、冬の寒気に耐えながらも数多くある花に先がけて、一番初めに花を咲かせる木です。寒さの日が続いても、どの花よりも早く開花に向けて粘り強い準備を進め、自ら花を咲かせます。梅の花そのものにも、潔く凜とした姿に気品を感じます。梅の木のように、御成門中生一人一人が寒さに負けず、自分の進むべき方向に真っ直ぐ進み、仮に厳しいことがあっても乗り越え、その先に自分が納得できる花を咲かせてほしいと思います。

特に3年生は、寒さの続く2月中旬、下旬と私立高校・都立高校等の一般入試が目前にあります。まさに試験のときですが、厳寒の中にあっても花を咲かせる梅の木のように、これまで自分が準備して取り組んできたことを信じて、もてる力を出し切ってください。不安や心配は、受験生の誰もが抱えているはずで、自分だけではありません。体調に気を付けて、焦らず平常心で臨んでほしいと思います。

私の好きな言葉に「人事を尽くして、天命を待つ」というものがあります。「人として出来るかぎりのことをして、その上は、天命に任せて心を労しない」と国語辞典の広辞苑にあります。しかし、この言葉は、決して神頼みの言葉ではありません。自分の願いや目標に向かって日々、ベストを尽くしていけば着実に前進し、必ず実を結ぶはずで、たとえ、早急にその思いが叶わない時でも諦めずに、努力を続けていけば、その先には自分の歩む道に通じると考えています。私は、この言葉を変化の見えにくい冬の時期や、ゴールまであともう少しと感じているときに、よく思い出します。2年生にとっては、進路選択が一年後の現実問題となりました。推薦入試を考えている生徒には一年間ありません。2年生は一年後、1年生は二年後の姿を想像して、我が身を振り返り、日々の授業を真剣に受けることで、確かな学力を身に付けてください。

2月は、2年生の鎌倉校外学習や1年生の百人一首大会、一年間の学習成果の集大成となる期末考査があり、一年のまとめの時期です。生徒の皆さんも、今、目の前にあることに全力を傾けて、次へのステップにつなげてください。そして、御成門中生一人一人が、大小の坂道があっても「人事を尽くし」、自分が納得できる花を咲かせてほしいと思います。

第10回「東京駅伝大会」港区中学生の思いをタスキにつなぐ

昨日2月3日(日)は、味の素スタジアム沿道で、各区市の代表の中学2年生で競い合う東京駅伝大会が行われました。御成門中からは、港区代表選手の6名が11月から港区合同チームの練習に励んできた大会です。大会では御成門中の代表選手だけでなく、港区チームの選手が、一致団結してタスキをつなぎ、大健闘をしてくれました。

